

沖縄県シンガポール事務所開所記念事業 ～シンガポールを拠点に東南アジアとの経済交流強化を目指す～

シンガポール事務所

2015年7月21日から5日間、翁長雄志沖縄県知事が経済ミッション団を率いてシンガポールを訪れ、4月に開所した沖縄県シンガポール事務所の開所記念事業を実施しました。

クレアシンガポール事務所では、7月24日に中心部のホテルで行われた各種セミナーや開所記念レセプションを取材しました。

1 沖縄県産品B to B商談会

沖縄県産品の認知度向上とシンガポール向け県産品の輸出拡大を図るため、現地ディストリビューターと連携して招へいたバイヤー向け商談会が開催されました。県内企業が6ブースを構え、オリオンビールやモズク、県産豚肉など約70品目をPRしたほか、沖縄の食材を使用したビュッフェも提供され、多くのバイヤーが沖縄の食材に関心を示していました。



沖縄県産品に関心を示すバイヤー

2 全国特産品試食展示会

すぐ隣の会場では、県外特産品の試食展示会も開催されました。沖縄県はANA Cargo、ヤマト運輸と連携し、那覇空港から県産品だけでなく、全国の特産品をアジアに届ける「国際物流ハブ」の取組みを進めており、2014年5月からシンガポール便（貨物便）も就航しています。

ANA Cargo、ヤマト運輸のプレゼンテーションのほか、ヤマト運輸と連携して那覇空港を活用した特産品輸出に取り組んでいる青森県の取組みも紹介されました。



青森県はヒラメ等の水産品も展示

また、実際に那覇空港から輸送された青森県、静岡県、愛媛県、熊本県の特産品の試食が行われ、高品質な日本全国の食材が沖縄経由でスピーディーに届けられることもPRされました。

3 沖縄県ビジネス環境紹介セミナー&商談会

沖縄県はアジアからの企業誘致にも取り組んでいます。東京と香港・シンガポールを結ぶ海底光ケーブルの沖縄への陸揚げなど、日本とアジアを繋ぐハブ機能の拡充に取り組む沖縄

県の企業誘致施策や、沖縄科学技術大学院大学（OIST）などの最先端の研究開発機能を紹介するセミナーも開催されました。

合わせて、県内のITやバイオ関連企業7社が参加し、共同研究や企業連携などの個別商談会が行われました。

4 沖縄県シンガポール事務所開所記念レセプション

夜には事務所開所記念レセプションが開催されました。翁長知事をはじめとする沖縄からの経済ミッション団に加え、シンガポールからもチャンギ空港、政府関係者、観光関係者、関係団体・企業などが集まり、総勢約300人と事務所開設への関心の高さがうかがえました。

翁長知事は、「ヒト・モノなどのハブとして発展し続けるシンガポールに事務所を開設し、東南アジアとの経済交流を協力を進めていく」と事務所開設の狙いを力強く語り、来賓祝辞にチャンギ空港グループのウォン上級アドバイザー、在シンガポール日本国大使館の竹内大使、シンガポール国際企業庁のチュア副長官が登壇しました。

会場では沖縄の食材を使った料理の提供や、沖縄の自然・文化を紹介する映像の放映、琉球舞踊や空手演舞などのアトラクションで沖縄が総合的にPRされ、沖縄一色の熱気に包まれました。



鏡割りの様子

5 おわりに

今回の開所記念事業に合わせて、翁長知事は航空会社2社を訪問し、事務所の第一目標である現在チャーターで運航しているシンガポール-沖縄間旅客便の定期便化要請も行いました。

従来から観光・物産といった様々なプロモーションを行ってきた沖縄県ですが、事務所開設により、航空路線の誘致、観光客の誘致、県産品の販路拡大、県内企業の進出支援などシンガポールを中心とした東南アジア各国との経済交流がさらに活発化していくことでしょう。我々クリアシンガポール事務所としても、連携を図っていきたいと考えています。



開所式典テープカットの様子

(与那嶺所長補佐 沖縄県派遣)